

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:過疎・中山間地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			個別テーマ	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点												
		人口減少対策	過疎中											

(県南地方振興局)														
1	継続2		○	移住・定住	都市と農村との交流を再構築！～アフターコロナ大信いいもの体験事業～	白河市大信地域交流促進協議会	ソフト	1,799	1,194	一度交流が途絶えてしまった関係性の再構築を目指すべく、大信地域の農業と観光を軸とした交流人口の増加、さらには域内で生産される安心・安全で良質な農林水産物等を原料とする名産品の開発により、復興・再生のキズナをつくり、地域活性化の一助として楽しく活動できる地域を目指し取り組んだ。 ○農・自然・文化等の資源を活かした体験コースの開発 ○おもてなし料理のレシピPR、提供(9/6料理講習会、10/26PR活動) ○各種開発コースの情報発信とモニター受入(10/12-13モニターツアー、16名)	R6.5.1～R7.3.31	白河市		
2	継続2		○		SDGsフェア2024	SDGs推進委員会	ソフト	798	531	県南地域の中小企業が集まり、SDGsに特化したイベントを開催。17項目すべての目標に触れることができる機会とし、この活動を通して、世界全体の課題について学ぶ機会を持つことに加え、管内企業のPRにも繋げた。 ○情報発信 ・インスタグラムの投稿によるSDGs活動の宣伝 ○SDGsフェアの開催(10/27) ・SDGs17目標を学ぶことのできるそれぞれの出店を行うほか、食や体験のブースでは、スタンプラリーを通して、17目標の項目すべてを学ぶ機会を提供する	R6.5.1～R6.12.23	西郷村		
3	継続2		○	人づくり	にしごう祭り	にしごう祭り実行委員会	ソフト	6,081	3,800	東日本大震災に伴う風評被害の払拭と、減少した観光客の回復を図るだけでなく、西郷村における課題である人口増加に起因する地域や人のつながりの希薄化や、村内企業の人手不足解消を目的に、特産品の販売や地域の産業体験、企業PR、文化団体による発表等を行うイベントを開催。 ○にしごう祭りの開催(10/12) ○SNSを活用した事業者紹介、観光PR ○ハッシュタグキャンペーン開催によるアフターフォロー	R6.4.1～R7.1.31	西郷村		
4	継続2		○	移住・定住	来らっし飲まっし白河・西郷	青空バル実行委員会	ソフト	932	600	県南地域は大企業の工場等があり、交通アクセスも良く人口流入(Uターンや転勤帯同)もあるが、一方で閉鎖的な農村地帯でもあり、地元の方と転入者の情報共有がうまく出来ない問題点がある。そこで、転入者の先輩、継続2転入者、行政がざっくばらんに意見共有できる場を設け、既存の子育て支援等の活用を促すと共に、地域の文化に親しみを持ってもらった。 ○転入女性同士の交流会、意見交換会の開催(1/25、参加者10組21名) ○「青空バル～地域を知る・繋がる・楽しむ～」の開催(9/7、参加者15,00名) ・県内の酒や食の紹介の他、子育て支援グループ等のブースを設ける。	R6.4.1～R7.1.31	西郷村		

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:過疎・中山間地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口減少 対策	過疎中										
5	継続 2	○	○		不登校児童への社会性接点構築と義務教育後支援事業	東白川子どもの居場所	ソフト	738	491	子どもの自己肯定感が低く、不登校やひきこもりが問題となっている現状を解決するため、学校・地域・行政とが連携しながら、家や学校以外で自分らしくありのままいれる居場所をつくり、安心・安全で社会と繋がれるようにすることで、自己肯定感を育み、様々なことに取り組む力をつけられるよう展開。 ○絵を通してシュタイナー教育に触れる(4/15、6/3、10/28、12/16 延べ46名) ○親への性教育(2/10) ○子ども達企画のお泊まり会、遠足企画(7/22) ○映画上映と講演会(1/19 参加58名)	R6.4.1～R7.3.31	基町	
6	継続 3		○	カーボンニュートラル	里山で出来るSDGs発信事業	しらかわ里山ネット	ソフト	1,458	941	森林等が持つ多面的な機能の活用を図るため里山整備を進め、県内外の人々を里山に呼び込むとともに、事業を通してSDGsを学び実行し啓蒙活動に取り組むことで、里山と人との繋がりがりや地域資源の重要さを感じ、地域間交流や郷土愛の醸成につなげた。 ○子供たちと共に学ぶSDGsの開催(8/3 参加者親子25組58人) ○里山フォトコンテストの開催(応募47人95作) ○里山スタンプラリーの開催(4月～11月 参加者570人) ○里山花めぐり広報活動 ○里山はなめぐりツアー(4/20、参加者42名)	R6.4.1～R7.3.20	白河市	
7	継続 3		○	人づくり	ジュニアゴルフ育成による大信地域活性化事業	大信をゴルフで元気にする会	ソフト	813	462	過疎地域に指定されている大信地域において人口減少に歯止めをかけるため、地元や他地域の小学生を対象にゴルフ合宿や大会を開催することで、地元の財産を再確認し、関係人口からの定住促進、人口流出の抑制につなげた。 ○プロゴルファーによるゴルフレッスン(9回、参加者延べ51名) ○スナッグゴルフ体験事業と全国大会出場(9回、参加者延べ132名) ○地元小学生のゴルフ場見学散策 ○地元食材を使用した昼食の提供 ○廃校活用事業 ○地元企業とのタイアップ	R6.4.1～R7.2.28	白河市	
8	継続 3		○		農産物産館まるごと西郷館を核とした賑わい元気を創出する拠点づくり振興事業	(仮称)道の駅にしごう出荷者等準備推進委員会	ソフト	2,948	1,965	農業等産業従事者の高齢化や後継者不足が進むなか、村の産業を荒廃させないため、農産物産館まるごと西郷館を中心にイベントを開催するほか、シンポジウムや勉強会を実施し、担い手の育成や所得向上を図った。 ○フットパス関連推進事業(5/25、参加者23名) ○にしごう軽トラ市(10/26、来場者約2,000名) ○MIDETTEでの村産小麦のPR(1/31)	R6.4.1～R7.3.31	西郷村	

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:過疎・中山間地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード／ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口減少 対策	過疎中										
9	継続 3		○		まちの事業者魅力発信事業	たなぐら商工業魅力 発信実行委員会	ソフト	5,445	3,592	人口減少や少子高齢化で雇用の確保が困難となっている現状を打破するため、町の魅力ある企業を「発信する・知ってもらう・体験してもらう・触れてもらう」機会を創出することで、地元企業の発展による移住者の確保や雇用の確保、継続的な地域の活性化につなげた。 ○たなぐらsakuraマルシェの開催(4/13、来場者数4,301名) ○高校生による町内事業者PR動画制作と発信(参加高校生8名、紹介3社)	R6.4.1～R7.1.10	棚倉町	
10	継続 3		○		埴町観光協会オンライン魅力発信事業	一般社団法人埴町 観光協会	ソフト	1,031	682	新型コロナウイルス感染症の影響による社会変容に対応するため、「埴町観光協会公式オンラインショップ」を開設し、埴町と町産品をインターネット上で広くPR。商品等のやりとりを通じて関係人口の増加を図るほか、SNSを活用し、オンラインショップや町の観光情報を発信し、観光誘客を実施。 ○埴町観光協会公式オンラインショップの運営 ○各種SNSを活用したPRやキャンペーン	R6.4.15～R7.1.24	埴町	
11	継続 3	○	○		「学習障害の子どもたちの野原君キャンプ」人にやさしい村づくり事業	一般社団法人あぶく まエヌエスネット	ソフト	987	633	鮫川村の豊かな自然や農村景観の良い環境を活かし、学習障害のハンディを抱える子どもたちが共同生活及び体験学習のできるキャンプを実施することで、参加者の自立的な成長を促すだけでなく、交流の輪を広げるなど取り組んだ。 ○共同宿泊プログラムの実施 ・学習障害の子ども向け(9/14-16、参加者15名) ・引きこもりの子ども向け(11/6-8、参加者16名) ○プログラムを安定的に運営するための人材確保	R6.4.1～R6.12.17	埴町	
累計					(県南地方振興局) 11件			23,030	14,891				